

9/3(土) 「INTRODUCTION TO MODELING」

プログラム概要：

意思決定分析モデリング、マルコフモデル、離散事象モデル、および他のモデリング技術と適切な使用法を紹介する。

講師：

・ **Shu Chuen Li**, MAppSc, MBA, PhD, Chair Professor of Pharmacy & Head of Pharmacy and Experimental Pharmacology, School of Biomedical Sciences and Pharmacy, Faculty of Health and Medicine, University of Newcastle, Callaghan, NSW, Australia

・ **Jipan Xie**, MD, PhD, Vice President, Analysis Group, Inc., New York, NY, USA

プログラムの内容

Shu Chuen Li 氏は、「モデルとはなにか?」「どういった時に使用するのか?」といったモデルを使用・作成する上での基本的な内容の講義から始まり、デシジョンツリーモデル作成方法について **Exercise** を交えながら説明された。

デシジョンツリーでの **Exercise** では、シャム双生児をセパレートしたときにいずれのアウトカムの確率も同じと仮定した上での、モデルを作成した。

Jipan Xie 氏は、マルコフモデル、感度分析、シミュレーション方法、モデルの限界について説明された。**Exercise** では **Excel** を使用したモデルシミュレーションを実演し、割引率やハーフサイクルコレクションの考え方と、**Excel** モデルへの取り入れ方を説明された。

感度分析のパートでは主に **One-way Analysis**、**Threshold Analysis**、**Scenario Analysis** について詳しく説明された。

最後に、モデリングの限界点とモデリングに適したソフトウェアの説明がされた。

全体を通しての感想：

業務では何度か **Treeage** を使用してモデル作成を行っているものの、基礎からしっかりとモデルについて教えてもらう機会がなかなかなかったため、自分の知識を確認する上でもいい勉強になった。

特に、はじめの **Exercise** (シャム双生児に関するデシジョンツリーモデル作成) では、自分を含めた受講生の回答と講師の模範解答の結果が全く異なるものであり、モデル作成時にはいろいろな可能性やアウトカムを熟考 (事前調査含む) した上で手を動かすことの重要性を改めて感じた。(以上、MH)